

(株)ダイイチ 白樺店

(帯広市)

熱利用設備の導入と電力“見える化”による運用改善

取組の概要

・環境への取組みのため、2008年度に電力監視装置を導入。運用改善による省エネを実施。（下記“ここもポイント”参照）

・帯広市が環境省の自治体を支援する「チャレンジ25地域づくり事業」により、当店が入居するショッピングセンターの各店舗企業と共同により省エネ設備の導入を実施し、当店は2010年度に以下の省エネ設備を導入。

■地中熱利用による冷暖房の効率化

冷暖房設備を、ボイラー・冷凍機を熱源とした集中式冷暖房方式から「地中熱ヒートポンプ」方式の設備に更新して効率化。

■太陽熱+空気熱利用による給湯の効率化

給湯設備を、ボイラー方式から「太陽光集熱パネル」と「空気熱ヒートポンプ」方式により温水を作る給湯システムに更新して効率化。

■照明の効率化

店内天井蛍光灯のLED化による効率化。
（その後2011年度にもスポット照明等をLED化実施。）



▲地中熱ヒートポンプ チラー



▲太陽光集熱パネル



▲太陽熱+空気熱 貯湯槽



▲LED照明

節電・省エネ効果

	エネルギー使用量 (原油換算kl)	電力使用量 (千kWh)	使用最大電力 (kW)
取組前	733	2,595	656
取組後	634	2,372	580
削減率	13.5%	8.6%	11.6%

※省エネ取組初年度2008年度と2011年度との比較。

企業概要

(株)ダイイチ



■所在地：帯広市西20条南1丁目14番地47

■代表者：代表取締役社長 鈴木達雄

■業種：食料品小売業
(スーパーマーケット)

■問い合わせ先：総務部 総務課

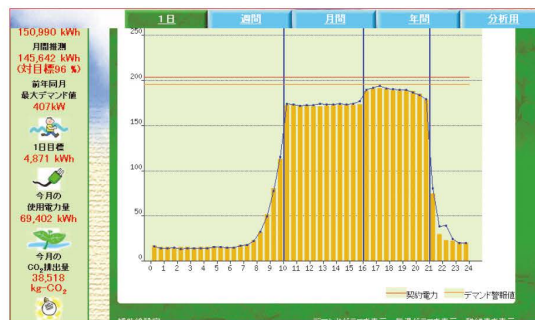
■電話番号：0155-38-3456

■URL：http://www.daiichi-d.co.jp/ ▲ダイイチ白樺店



ここもポイント

- ・電力監視装置の導入で「電力の見える化」をしたことにより、これまでの感覚的な省エネ対策ではなく、実績データに基づく対策が可能。
- ・特にデマンド値が超過しそうな時に警報を出して空調など営業に影響の少ない電力負荷を止めることでデマンド値の引き下げを実現。
- ・また、このことがガス・重油など電気以外の節減にもつながり、従業員全体の省エネ意識の向上にもつながっている。



▲電力監視装置画面